こころと身体 Soteria GMC

札幌市北区篠路

五稜会病院 広報誌第73号

令和4年雪解け～令和4年春

令和4年2月の五稜会病院正面写真です。今年の冬は大雪でした。道路も寸断、バスもJRも止まって通院、通勤にも支障がでました。雪解けが待ち遠しいです。

令和4年になっても、今度はオミクロン株のコロナの勢いが止まりません。連日のたくさんの陽性者で北海道もまん延防止等重点措置の適応になりました。何時になったら普通の生活に戻るのでしょうか。五稜会病院では、コロナの第3回目のワクチン接種を行っております。今回は、当院に通院中の患者さん家族も対象にしています。コロナのまん延防止に対して、少しでも貢献が出来れば幸いです。

今年の冬は大雪でした。昨年12月からの積雪、新年早々の雪、そして2月には2回もの大雪で、バスやJRなど交通網にも大きな影響がありました。除雪が間に合わず、その後の道路事情もこれまでに無いほどに悪化して、通院、通勤にも支障を来しました。オミクロン・大雪とダブルパンチです。

明るい話題と言えば、北京オリンピックで日本人選手の活躍がありました。金3個、銀6個、銅9個の計18個のメダルは最高の数です。すごいですね。

医療法人社団五稜会病院理事長・院長：中島公博

五稜会病院の理念

情熱と個々への配慮

1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切にした医療を行う。
3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

学会･研究発表

五稜会病院では、最新の医療を提供出来るように、日々研鑽しております。例年、札幌市病院学会、北海道病院学会、日本精神科医学会学術大会などの地方会、全国学会、研究会へ積極的に参加しています。

御 案 内

最近では、オンラインでの学会が増え、オンライン配信など、今までにないやり方になっています。

学会・研究会

★第47回札幌市医師会医学会（Web発表）
令和4年2月13日
「単科精神科病院におけるｺﾛﾅ禍の思春期症例の動向～五稜会病院での17歳のｶﾙﾃ～」　中島公博

★日本心身医学会北海道支部例会（Web発表）
令和4年2月27日
「家族療法によって回復した10代の神経性やせ症の一例」　八幡朋奈

★第42回札幌市病院学会（Web発表）
令和4年3月1日～15日
「成人期ADHD患者を対象とした認知行動療法ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの予備的検討」　宮村真季
「ｺﾛﾅ禍におけるｱﾙｺｰﾙ依存症外来集団療法への取り組み」　旭　俊恵
「精神科における本人参加型多職種ｶﾝﾌｧﾚﾝｽの実践報告」　難波直喜

論文・エッセイのご紹介

●民間の単科精神科病院における臨床治験の検討
中島公博　札幌市医師会医学会誌　2021

●最近の精神科医療の関する話題
～厚生労働科学研究補助金障害者総合推進事業から～
中島公博　北海道精神科病院協会　2022

★ワインエキスパート合格体験記
中島公博　北大第二外科同門会報　2022

患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

最近の精神科医療政策のご紹介

★令和4年4月から診療報酬が改定されます★

診療報酬は、技術やサービスの評価である医科診療報酬・歯科診療報酬・調剤報酬と、物の評価である薬価・材料価格に分けられます。 診療報酬改定は、報酬の内容や点数の見直しを行うために、原則として薬価については1年に1回、その他の報酬や価格については2年に1回実施されます。令和4年は、病院の診療報酬の改定の年になります。

患者さんには、直接関係がないと思うかもしれませんが、自己負担が変わったりもしますので多少の影響はあります。国がどういう診療に重点を置いているのかが分かりますので、多少は知っておいても損はありません。

改訂に当たっての基本認識

以下の項目が挙げられております。

- 新興感染症等にも対応できる医療提供体制の構築などを取り巻く課題への対応
- 健康寿命の延伸、人生100年時代に向けた「全世型社会保障」の実現
- 患者・国民に身近であって、安心全質の高い医療実現
- 社会保障制度の安定性・持続可能確、経済財政と調和

精神科で関係する改訂内容を列記します。

・アルコール依存症の外来患者に対する集団療法評価の新設
・摂食障害入院医療管理加算及び身体合併症管理加算の見直し
・精神科外来に通院する重点的な支援を要する患者対し、多職種による支援の評価の新設
・児童思春期精神科専門管理加算の見直し
・通院・在宅精神療法の見直し
　精神保健指定医による通院・ 在宅精神療法について、新たな評価を行います。
・精神科救急医療体制の整備推進
　精神科救急入院料について、名称を精神科救急急性期医療入院料に変更するともに、入院期間応じた３区分の評価に見直す。
　精神科急性期治療病棟入院料について入院期間に応じた３区分の評価に見直す。また、当該入院料を算定する病棟の同床数を130床以下に限定する。
・こころの連携指導科
　孤独・孤立の状況等を踏まえ、精神科又は心療内科に紹介された精神疾患を有する患者等に対して、当該診療科の医師が、かかりつけ医等と連携して指導等を実施した場合の評価を新設する。
・救急患者精神科継続支援科の見直し
　自殺企図患者等に対する効果的な指導に係る評価を推進する観点から、救急患者精神科継続支援科について要件及び評価を見直す。

当院は患者さん本位の医療を提供しようと考えております。
お気づきの点はご相談下さい。

治験のご協力のお願い

現在、当院では「統合失調症」「小児統合失調症」に対する薬剤の臨床治験を行っています。創薬（薬を創りだす）は国家戦略の一部です。臨床治験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。

統合失調症とは

統合失調症は、現実とのつながりの喪失、幻覚（通常は幻聴）、妄想（誤った強い思い込み）、異常な思考や行動、感情表現の減少、意欲の低下、精神機能（認知機能）の低下、日常生活（仕事、対人関係、身の回りの管理など）の問題を特徴とする精神障害です。

IRB（治験審査委員会）

治験を実施する際に、倫理性に問題がないか、治験参加者の「人権」と「安全性」に問題が無いかなど、治験の倫理性、安全性、科学的妥当性を審査する組織です。五稜会病院では、月に1回開催しています。

五稜会病院　概要

標榜科名：精神科・心療内科・内科・消化器科

病床数　193 床
- 急性期病棟　48 床
- ｽﾄﾚｽｹｱ・思春期病棟　48 床
- 療養病棟 A　49 床
- 療養病棟 B　48 床

従業員数　約 200 名

医師数　常勤	8 名	非常勤	6 名
看護師	83 名	准看護師	9 名
薬剤師	2.5 名		
臨床検査技師	1 名	非常勤	4 名
臨床心理士	11 名	（公認心理師	9 名）
作業療法士	9 名	ｽﾎﾟｰﾂｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	5 名
精神保健福祉士	9 名	管理栄養士	2 名

五稜会病院沿革

開　設　昭和47年（1972年）
医療法人開設　平成２年（1990年）

編集後記

今年の冬は大雪で、バス、JRは動かないわで大変でした。除雪機も壊れて応急処置をしました。新しく購入しようと思っても在庫切れ。来期はどうなるやら。オミクロン株、早く収まって欲しいですね（K.N）

発行：令和４年２月 25 日
〒 002-8029
札幌市北区篠路９条６丁目２－３

こころと身体のクリニック
医療法人社団 五稜会病院

発行責任者：広報委員 竹原幸佑・中島公博
電話：011-771-5660
http://www.goryokai.com
mail：GMC@goryokai.com

「ストレスケア・思春期病棟」の紹介

「ストレスケア・思春期病棟」は、うつ病などのストレス関連疾患に対して治療を行う「ストレスケア病棟」と、思春期のお子さまを受け入れている「思春期病棟」の混合病棟です。

ストレスケアは、心身の疲労が生じている現在の環境から一時的に離れて休養したり、ストレスを受けた際に上手く対処できる方法をトレーニングすることを目的としています。

子どもたちも学校生活、友達関係、受験、家庭内の問題などからストレスを抱え、様々な症状を引き起こしてきます。また、不登校や適応障害などで引きこもり状態にあるお子さまは、人と接する機会が少なくなり、その結果、集団に入ることに対して過度に緊張し恐怖感を抱きやすくなります。思春期治療は、このようなお子さまが環境を変えて静養したり、自身の身に起きていることを整理したり、自分を大切にする心や、もともと持っている回復力を引き出すなど、心と体を整えるお手伝いをさせていただきます。

◆心理教育プログラム◆

セミナー参加後は、病棟生活や日常生活で実践できるように、各プログラム担当の看護師がサポートしています。

コミュニケーションゼミナール	「思ったことがうまく言えない」と言った悩みに対して、率直な自己表現のコツを知り練習などを通して自己表現の仕方を学びます。	イライラ気分との付き合い方	「不愉快だ」「カチンときた」といったイライラ気分（怒りの感情）のメカニズムについて知り、適切に調整する方法を学びます。
ココロのストレッチ	「ついつい考えすぎてしまう」「いやな気分をひきずってしまう」といった状態に対して「考え方のクセ」を見つめなおすことで、気持ちを整理する方法を学びます。	やる気スイッチ	「気分がよくならない」「今日も１日、部屋からでられなかった・・・」そんなあなたに、気分を良くなるのをまつのではなく、活動によって気分を変化させていく方法を身につけます。
感情のトリセツ	「自分の気持ちがわからない」「感情に振り回されている」といった状態に対して感情本来の役割を知り、感情の悪循環に対処する方法を学びます。	睡眠セミナー/CBT-I（睡眠認知行動療法）	睡眠、不眠の新常識、睡眠の質を上げるための正しい工夫を学んでいきます。ご自身の眠りの疑問にもお答えします。

◆思春期プログラム　Peer's（ぴあーず）◆

成功体験ができる、自己表現が上手にできる、対人交流に不安なく過ごせる、安心できる居場所を得る、相談が上手になる、笑顔の時間が増えるなどを目標にかかわっています。

モーニングタイム

- ✓ 生活リズムを整える
- ✓ 朝から活動する
- ✓ 同世代の子と顔を合わせることで交流のきっかけづくり

読書・スクラッチアート・塗り絵・学習など、主に個人での活動を実施します。

ぴあーずスポーツ

- ✓ 同世代の子とスポーツを通じて交流する
- ✓ 身体を動かし気分転換する。体力づくり

ボランティアスタッフと卓球・ミニバレー・バトミントン・バスケなどの軽スポーツを実施します。

学習タイム

- ✓ 勉強の場の確保
- ✓ 学習習慣をつける

勉強したい教科を自由に勉強でき、わからないところはスタッフに聞くことができます。ドリルなどは、病院で用意したもの（コピー）を取り組むこともできます。

ぴあーずトーク

自分を知ること、気持ちに気づくこと、考えや行動を見直すこと、相手をよく観察すること、情報を整理すること、相手に合わせて話すことなどのソーシャルスキルについて学びます。心理師と共に、ストレスや感情との付き合い方・リラクゼーション・コミュニケーションなどのテーマについてワークを通して取り組み、発表などを通じ他の人の考えに触れます。

●受け持ち看護師・思春期チームスタッフの関わり●

症状や家族・友人関係・進路や将来のことなど、様々な悩みを丁寧に伺い状況の整理を一緒に行います。作業療法や心理プログラムも併用しながら基本的な生活リズムを整えていけるようにサポートします。悩みや困りごとなど、気がねなくご相談ください。

※ご希望の方は病棟見学も可能です。主治医にご相談ください。ストレスケア・思春期病棟　師長　浮田志保

思春期治療についての取り組み

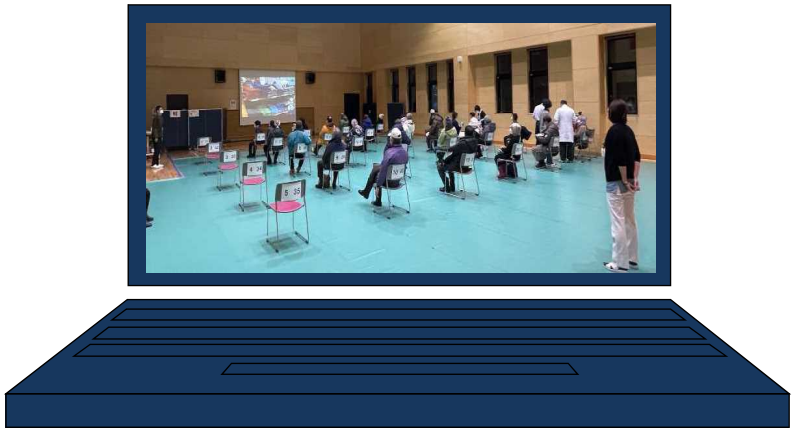
多職種がチームを組み、本人・家族へ包括的な治療と支援を行っております。

当院外来での思春期患者への治療は、医師による診療に加え、本人・ご家族の状況に合わせて以下のものがあります。心理師や看護師、専門看護師（CNS）によるカウンセリング、心理師による外来集団心理療法、当院家族会でのサポート、PSWによる相談と外部支援へのつなぎや連携など、本人に沿った治療支援をチームで行っています。今ある精神症状、発達段階や生活背景を包括的に考慮した治療、支援を組みたてることを大切にしております。

医師　田上洋平
CNS　鈴木大輔

新型コロナウイルスのワクチン予防接種情報

新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の開始！

2月14日（月）より65歳以上の高齢者の方の接種を開始しました。毎週月・木曜日の17時以降で150人/日の集団接種となります。その後、順に基礎疾患等の接種を行う予定となっております。詳細につきましては、病院ホームページをご確認ください。

予約電話：011－771－5660（代表）　　事務長　田中倉一